



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

「親切心」だけじゃまにあわない ～創造対話が求められる背景～

CSOネットワーク 創造的対話ガイドブック
発行記念セミナー

2025/2/27(木) 14:05-14:20

於 GEOC (地球環境パートナーシッププラザ) + zoom

佐藤寛 (開発社会学舎/MINNA:みんなの外国人ネットワーク)



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

日本で働く外国人が増えている



【現状】 外国人労働者数230万人超:過去最多

2025/1/31 厚生労働省発表

- ・ 日本で働く外国人労働者は2024年10月末時点で230万2587人に上り、届出が義務化された2007年以降過去最多
- ・ 外国人は就業者全体の**3.4%**を占める
- ・ 2023年の同時期と比べて25万人以上増、過去最大の増加幅
- ・ 国別で見るとベトナムが57万708人で、全体の24.8%を占め、中国（17.8%）、フィリピン（10.7%）が続く
- ・ 産業別増加率では、「**医療・福祉**」が前の年の同じ時期と比べて28.1%増、**建設業**が22.7%増、**宿泊・飲食サービス業**が16.9%増・産業別人数では、製造業が59万人で最大。サービス業（35万人）、卸売・小売業（29万人）が続く



日本もかつては**送り出し国**だった

- 日本もかつては「**途上国**」であり、移民送り出しが国策であった。現在その子孫は250万人
- 目的は「送金」よりも主として「口減らし」であったが、移民個人にとっては人生を賭けた勝負であり、成功すれば日本では実現できない「豊かな暮らし」が送れるという希望があった
- 政府もこれを奨励し、様々な支援策を講じた
- その嚆矢は1868年ハワイへの（官約移民）「元年者」
- 1893年「殖民協会」設立→1897榎本植民地（メキシコ）
- 北米での「黄禍論」蔓延（特に日露戦争後）→南米へ
- 1899 ペルーへの契約労働者送り出し
- 1908ブラジル第一回移民「笠戸丸」
- **移民の成功には受け入れ国の移民対策が非常に重要**

満洲へ!!



申込八市町村役場又

2025/2/27



拓殖省特設
社会式株業外海
第4号

©Satokan-MIINNA 2005



日本の外国人労働者**受け入れ**の歴史

- 第二次世界大戦前・戦中期に朝鮮半島・中国からの労働者(徴用)
- 高度成長期（戦後~1970年代半ば）～**外国人労働者不要**
日本国内の農村過剰労働力の活用(**農家の次三男**)
(人口ボーナス=需要と供給の幸運な一致)
- ボートピープルの流入（1978）=**初の難民受け入れ**
- 中国残留孤児帰還事業（1981）。受け入れカリキュラムの創設。
帰還受け入れ施設の設置（定着促進センター、自立研修センター）、日本語教育
- **「金持ち日本」の時代**(1970年代農協海外ツアー)
- エンターテインメントのフィリピン人、歌舞伎町のタイ人
- **バブル期**（1980年代後半以降）日本の経済膨張が**吸引力**
- イラン人の流入と東京・代々木公園の偽造テレホンカード
- 1990入管法日系ブラジル人の合法的流入（身分による滞在）



現在:日本の産業の高齢化・少子化

- 日本の産業の90%以上は中小企業、家族経営農家
- 家族経営+地元の人材で、生き延びてきた
- 経営者の高齢化
- 若者の都市部流出
- 若者の肉体労働の忌避(3K:きつい、汚い、危険)
- 若者が低賃金で働かない
- 高齢人口の増加(村の6-7割が60歳以上)
- 日本中の介護施設・建設・工場・農業・漁業は「人手不足」
- ➡外国人に来てもらうしかない!
- 各県の知事は、アジア途上国に「良い人を送ってください」というお願いに行く



異国で生活するのは簡単ではない

- 日本全国で「外国人住民」「外国人労働者」は増加
- 彼ら/彼女らの**在留資格は多様**で、中には非正規滞在になっている人も存在
- **2024年6月時点**で日本に長期間滞在している外国人は**358万8956人**(出入国管理庁2024/10発表)
- 日本の人口(1億2385万人:2024/8現在)の約**2.8%**にあたる
- 前年末(341万992人)に比べ、17万7,964人(5.2%)増加
- 性別では、男性が50.5%、女性が49.5%
- 都市部では日常生活で外国人を目にすることが増えた(アルバイトする留学生も労働者)
- **生活上の課題、健康に関する不安**を感じている外国人も多い
- こうした状況の中で、全国の自治体や企業、市民社会団体、周囲の日本人に何ができるのか？



親切心だけでは間に合わない理由: 私たちは彼らのことを知らないから

- なぜ途上国からの労働者は日本にやって来るのか
- 日本に来るためにどのような困難があり、それを彼らはどのように乗り越えてきたのか
- 彼らが送金する故国で家族・親類はどのような暮らしをしているのか(なぜ、そんなに頑張って送金するのか)



なぜ途上国から日本に働きに来るのか

- 地元での有利な就職先が少ない = 個人の経済的上昇可能性が小さい
 - ➡ 家族の期待を背負い「いちかばちか」の勝負に出る
- しかし、行く先の情報が十分でない
 - ➡ つてがないと「ブローカー」「前払い金」に頼る
 - ➡ 悪徳ブローカーのカモになる(これが出稼ぎ労働者の日本での生活が極めて高いリスクを抱える原因)
- 途上国だった昭和初期の日本でも同様（昭和初期の東北飢饉では、「娘身売りの際は、周旋人に頼らず、役場に相談を」という施策があった）



1934 (昭和9) 年

2025/2/27

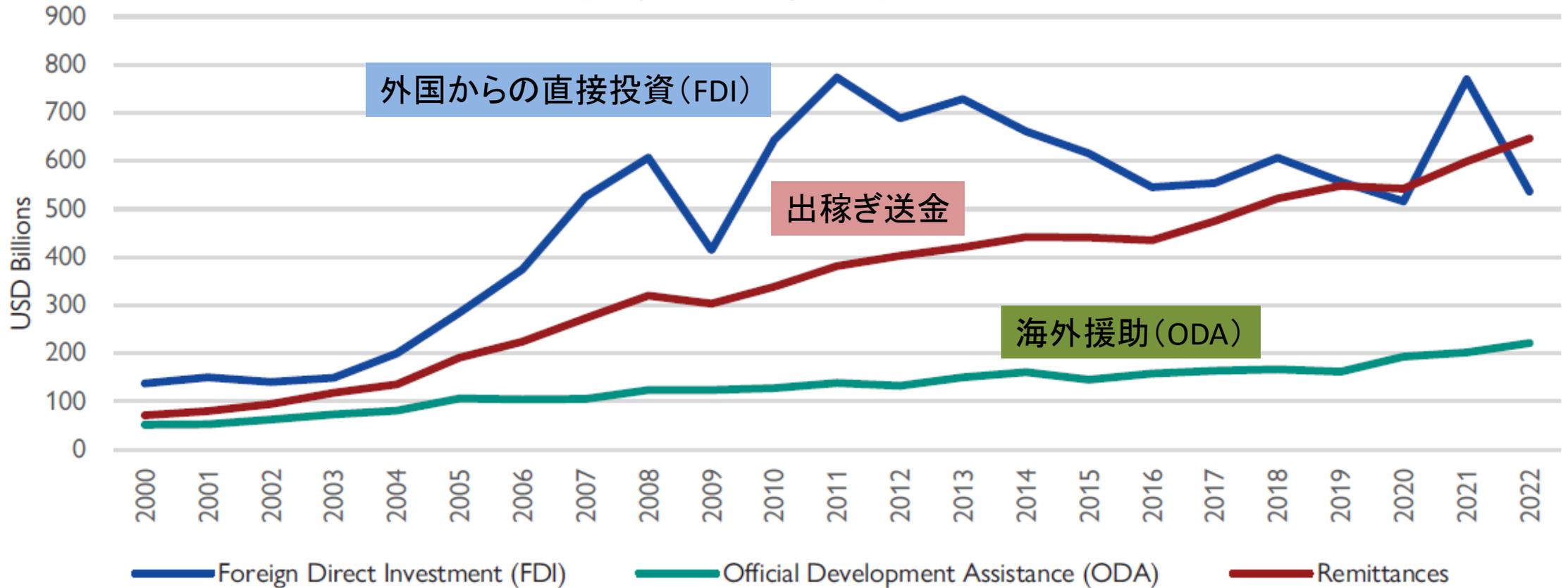


途上国の政策出稼ぎ奨励政策

- 航空運賃が低価格化→出稼ぎが容易になる
- 出稼ぎ人口増加による本国送金がGNPに大きく貢献
- 出稼ぎ送金の開発効果も大きくなっている
- かつての「頭脳流出」懸念より「出稼ぎ送金流入」に注目
- 国際的な援助資金の先細りを受け、2015年第三回開発資金国際会議:アディスアベバ行動目標 (The Addis Ababa Action Agenda) では途上国の**国内資金調達**が求められ
- →自国民の労働移民促進政策奨励に拍車
- 東南アジアの一部は中進国化しつつあるが、後発アセアン (CLMV) 並びに南アジア諸国 (バングラデシュ、ネパール、スリランカ)、さらには中央アジア諸国からも日本への送り出し本格化

Figure 10. International remittance flows to low- and middle-income countries (2000–2022)

中・低所得国への海外からの資金の流れ



Sources: World Bank, n.d.b (remittances); World Bank, n.d.c (FDI and ODA data from World Development Indicators). (Accessed 17 June 2023).

Note: All numbers are in current (nominal) USD billion.



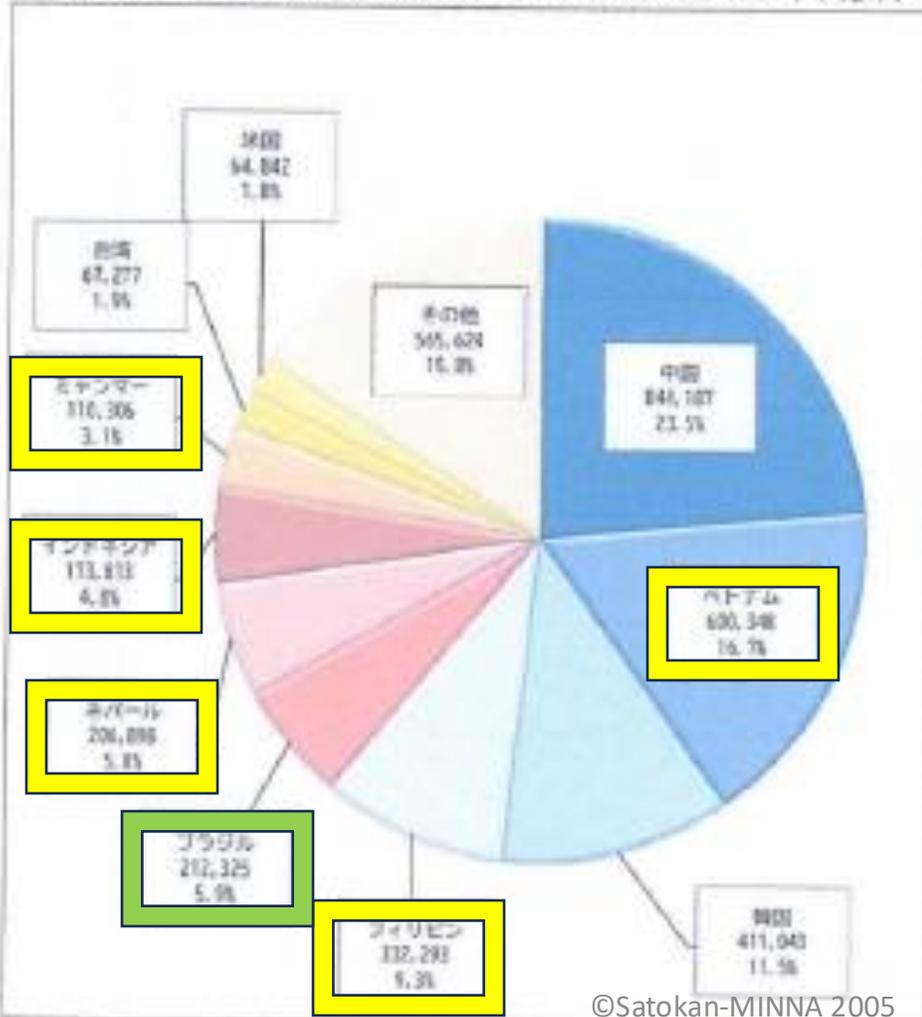
どこから働きに来ているのか

東南/南アジアから働きに来る人々の増加

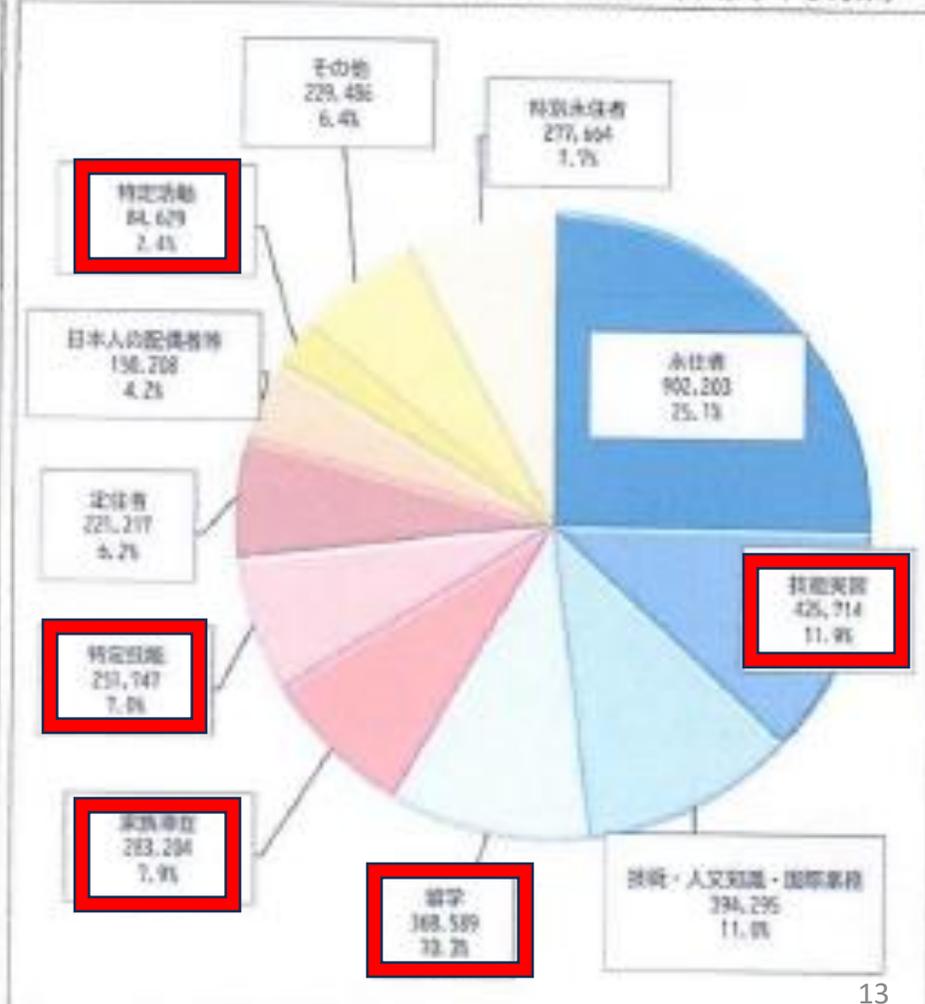
入管統計2024年6月.pdf



【第2図】 国籍・地域別 在留外国人の構成比（令和6年6月末）



【第3図】 在留資格別 在留外国人の構成比（令和6年6月末）





minna

SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

外国人労働者との相互理解のために 日本社会はどうか対応しているのか



富士山

外国人労働者をめぐる47都道府県プロフィール



日本各地で起きている様々な事象のコレクション

- みんなの外国人ネットワーク（MINNA）による作成
- 主に「技能実習生」をめぐる報道を中心に収集
- 国の外国人労働者受け入れ政策に関する報道
- 自治体・地元企業による取り組み
- 市民社会の取り組み
- 外国人労働者をめぐる犯罪、訴訟などに関する報道



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

47都道府県プロフィール
国の制度をめぐる対応



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

東京

「外国人使い捨て」が透けて見える… 日本が 「選ばれない国」になる懸念 「育成就労」法案が衆院通過

2024/05/22

技能実習に代わる外国人材受け入れの「育成就労」制度創設と、永住資格の新たな取り消し制度を柱とした入管難民法と技能実習適正化法の改正案が21日、衆院を通過した。岸田文雄首相は「外国の人材に選ばれる国にする」と言うが、働く外国人の人権確保策は不十分だ。永住資格の取り消し制度へも永住者から不安の声が上がる。政権が掲げる「共生社会」の将来の姿が見えない。





minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

47都道府県プロフィール

県・自治体の対応

(山形)「窓をたてる」って何？ 介護職につく外国人へ、方言マニュアル発行

2023/02/05



MIND
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

日本語は一通り勉強したけど、現場で聞く方言は意味が分からない——。そんな外国人介護従事者らの悩みを解決するため、山形県が「やまがた方言マニュアル」を発行した。外国人技能実習生を中心に介護施設で働く外国人が増える中、働きやすさの改善につなげる狙いだ。

マニュアルでは、「窓をたてる（閉める）」「こわい（疲れた）」「んだ（そうです）」「んね（違う）」など27種類の方言について、標準語と英訳で意味を説明している。置賜、庄内、最上、村山の4地域ごとの言い回しも書き分けた。マニュアルは、県老人福祉施設協議会が作り、県のホームページで公開されている。



群馬・県による外国人向け情報発信

(英・中・韓・スペ・ポル語の自動翻訳)



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

群馬

- 外国人留学生のための企業見学バスツアー
- 定住外国人等のための介護に関する日本語研修
- 外国人介護人材受入準備セミナー
- コロナ関連情報は自動翻訳ではなく、上記5か国語で掲載
- YouTubeとFacebookでやさしい日本語の「Work in Gunma」



©Satokan-MINNA 2005

2025/2/27

静岡県・やさしい日本語の普及啓発



MINNA
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク

静岡県における「やさしい日本語」使用への取組 背景

静岡

H23.3.11 東日本大震災



課題：災害時の外国人への迅速で正確な情報発信

当時（平成22年12月末時点）

・静岡県内の在住外国人人口：86,333人、国・地域：114

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	総数
国籍	ブラジル	中国	フィリピン	韓国	ペルー	ベトナム	インドネシア	タイ	123
外国人数	33,968	13,324	12,358	6,176	5,744	2,044	1,955	1,115	86,333

全ての外国人住民に対応した母国語で伝えることは重要だが、
全言語に対応は不可能

富国有徳の美しい“ふじのくに”
静岡県



Source: 「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」に関する
有識者会議 第2回会議資料。

<http://www.moj.go.jp/isa/content/930005560.pdf>

©Satokan-MINNA 2005



Source: <https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-160/documents/yasanichimanual.pdf>



やさしい日本語の手引き
動画

Source: <http://bb.pref.shizuoka.jp/channel/detail.asp?pg=1&arcdid=12F9HJ8X2H2U2A&arcdid=12>



2020年
改定

実習生に伝わる日本語 実践ワークショップ (愛知・刈谷市)

2023.05.16

minna
SOCIAL PROJECT

主催: ARMS株式会社 協賛: GTS協同組合

実習生に伝わる日本語 実践ワークショップ



約100社にご購入いただいた大好評動画シリーズ『教えて!セイレンさん』の実践版!
少しの工夫で、あなたの指示がもっと実習生に伝わります!

●オンラインコース (Zoom)

場所 職場・ご自宅
日時 6月16日(金) 15:00~17:00
※定員: 先着25名 (最小開催人数5名)

●対面コース

場所 ARMS研修センター
愛知県刈谷市一里山町上流5-3
日時 6月23日(金) 15:00~17:00
※定員: 先着25名 (最小開催人数10名)

●費用 3,300円/人(税込)

●お申込方法

・各営業担当・訪問担当まで申込書にご記入の上、お渡してください。
・下記の電話番号/FAX/またはメールにて、下記申込書の項目をご連絡ください。
電話: 052-746-1506 FAX: 052-746-1505 ✉ kyoiku@arms.co.jp
ARMS担当: 大井田

●お申込期限 オンラインコース…6月9日(金)まで
対面コース …6月16日(金)まで

無料動画は
こちらから!



<https://arms.co.jp/archives/news/2690>

実習生を指導する日本人のみなさまに 職場ですぐに実践できる「実習生に伝わる日本語のポイント」を体験していただきます。
「日本人と実習生とのコミュニケーションのロス」を減らし、職場の生産性のアップに繋げるセミナーです!ご参加をお待ちしております。
よろしくお願いたします。

愛知

2025/2/2

実習生に伝わる日本語 実践ワークショップ申込書

事業所名	申込担当者名
------	--------

NNA 2005

22



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

47都道府県プロフィール
産業界・企業の対応

(宮城)技能実習生のためにレストランとモスクを開設 菅原工業の挑戦と思い

2023/01/16

minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

宮城

2023/01/16

- 宮城県気仙沼市で道路整備に関する土木工事等を手がける菅原工業。2014年からインドネシアの技能実習生（※1）を受け入れ、2019年には彼らをはじめとする市内の外国人実習生のためにインドネシア料理のレストランとムショラ（小さなモスク＝礼拝所）をオープンしました。
- 当社では、2020年に気仙沼市内にある8社の人事採用を担う「菅原工業人事部」という組織を立ち上げ、地元企業の若者の人材確保に積極的に取り組んでいます。具体的な取り組みとしては、市内の中学校で地元企業について知ってもらう出前授業の実施などです。市全体の雇用を底上げできれば、若者の地元定着率が上がります。そうなれば自治体の税収も増え、公共工事などで実施される私たちの事業も持続可能になります。
- その根底にあるのは、やはり従業員の豊かな生活を維持したいという思いです。その気持ちを原動力に、これからも地域やインドネシアの課題解決を図りながら前進していきたいと思えます。



[技能実習生のためにレストランとモスクを開設 菅原工業の挑戦と思い \(indeed.com\)](#)

外国人労働者の悩み“就労・言語・交流”を対面で相談 人材派遣会社がサポート施設を開設

minna
SOCIAL PROJECT

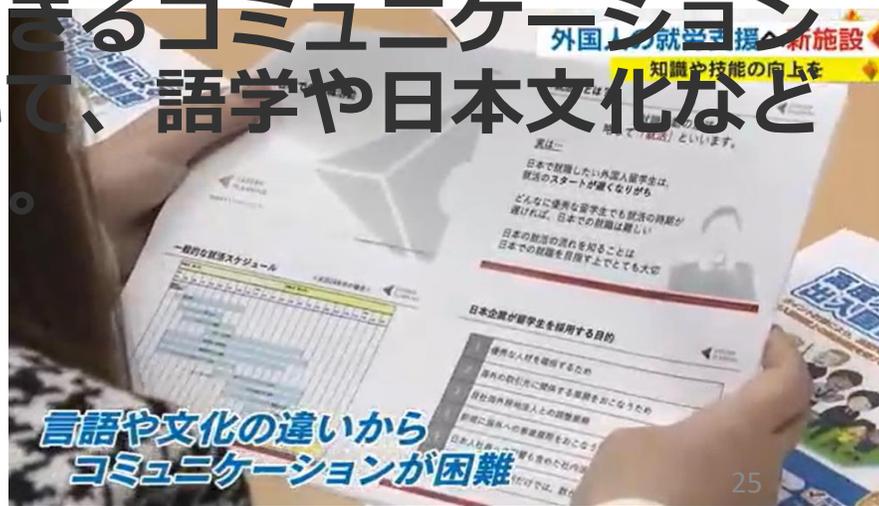
みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

【岡山・岡山市】岡山放送 2023/4/12

岡山

- ・ 製造業や建設業など人材不足を抱えている多くの企業で外国人労働者が重要な役割を担っている。こうした中、外国人労働者の悩みを解決し就労をサポートする施設が4月12日、岡山市にオープンした。
- ・ この施設は岡山市の人材派遣会社キャリアプランニングが開設。誰でも自由に入ることができるコミュニケーションスペースと会議室が設けられていて、語学や日本文化などの勉強会が定期的に行われている。

[外国人労働者の悩み“就労・言語・交流”を対面で相談 人材派遣会社がサポート施設を開設](#)
【岡山・岡山市】 | OHK 岡山放送





minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

47都道府県プロフィール
**市民社会の対応
技能実習生との交流**



minu
SOCIAL P

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

医療通訳、心の支えに

学校や保健所・見相でも 29日に講演会

2024/06/24 朝日新聞

群馬

外国人技能実習生や外国人労働者などの増加により「医療通訳」の重要性が高まっている。そんな中、群馬県内の通訳者が任意団体「群馬医療通訳者有志の会」（原美雪・代表理事）を昨年8月に結成し、活動している。現在メンバーは22人。今月29日に今年度最初の講習会を開く。「外国を訪れた際、突然病気になったら誰でも不安。群馬で暮らす外国人も同じ。そんな人たちの心の支えになりたい」



「群馬医療通訳者有志の会」代表理事の原美雪さん（左）と理事の芝原晶子さん＝2024年5月20日午後5時17分、前橋市、杉浦達朗撮影

(岩手・住田町)高校生がフットサルで外国人 人技能実習生と交流

TBS 2023/05/10



MINNA
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

岩手

高校生と外国人技能実習生
スポーツ交流で相互理解深める

- 岩手県住田町の高校生が10日、町内の会社で働く外国人技能実習生とスポーツで交流し、互いに理解を深めました。
- 10日フットサルを通して交流を行ったのは、県立住田高校の3年生5人と住田町の食品加工会社「住田フーズ」で働くインドネシア人とベトナム人の技能実習生合わせて8人です。
- この交流は高校生に地域で働く外国人技能実習生への理解を深めてもらおうと町の教育委員会が企画しました。



2025/2/27

漁業技能実習生と地元高校生が茶道で交流 茨城 神栖



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

茨城

2024/05/13



漁業の技能実習生として来日しているインドネシアの若者に、日本の文化を知ってもらおうと、地元の高中生と茶道で交流する催しが30日、茨城県神栖市で開かれました。

神栖市の生涯学習センターで行われた催しには、ことし4月から漁業の技能実習生として神栖市を訪れている、**インドネシアの若者11人と県立波**

崎高校の茶道部の生徒15人が参加しました。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/mito/20240531/1070024186.html>

©Satokan-MINNA 2005

29



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

技能実習生たちが地元の町長と交流

和歌山



- 和歌山県串本町の田嶋勝正町長から「町内で働いている外国人材に興味があり、一度お話ししてみたい」との申し出があり、4月18日（火）に実習生たちが町長とお話しできる貴重な機会をいただきました。
- ベトナムやインドネシアから来た実習生たちが働く串本町では、コロナ禍で中止していた花火大会や獅子舞のイベントも今年から復活すること。さらには、ロケット発射のお話や串本の温かい町民の話など、あっという間に時間が過ぎました。



minna
SOCIAL PROJECT

みんなの外国人ネットワーク
ソーシャル プロジェクト

日本社会との摩擦 ～人口10%の壁～



内子峡、愛媛



日本の外国人労働者 「問題」

来てほしい雇用主と、来てほしくない住民

- そもそも「問題」なのか？
- インバウンドは「良いこと」として語られ、外国人労働者問題は「グレーなこと」として語られるのはなぜ？
- 「わたしの日常とは関係ない」と思いたい住民の気持ち
- 「日本人」としてのプライド/特権を揺さぶられそうなことに対する直感的な防衛本能(ネット右翼に限らず)
- そのための理由付けとしての「犯罪」「治安」「マナー」「非常識」「税金の流用」といった『言説』(うわさ)の流布
- 根底にある「ゼロサム」意識 ← 多文化ネガティブ
- 他方、日本経済を維持するために「人手不足」対策は緊急
- 長期的にも「過疎化・人口減少」問題があり、特に地方の中小企業は「外国人労働者」を雇用せざるを得ない
- 地方部では「外国人住民の増加」という事実が着実に先行



多文化共生 = 多文化ポジティブ

- 「まちづくり」「地域活性化」戦略としての多文化共生（自治体にとって最終的な目的は「まちづくり」）
- 「人手不足」「事業の継続」戦略としての外国人雇用（企業にとっての目的は「ビジネスのサステナビリティ」）
- 「安心して生活したい住民」、「不安なく働きたい労働者」にとって、不安要因としての「外国人住民」「外国人労働者」
→こうした不安の軽減が必要
- これらのニーズを満たすためには「多文化共生」が必要

- 「多文化共生」とは、日本人も外国人もストレスなく過ごせるような社会 = 多文化ポジティブ
- 多文化であることが、日本人、外国人双方にとってより豊かな生活と収入機会をもたらす
- そのためには「対話」が必要
- 企業、監理団体、自治体、市民社会（支援組織）の多様な取り組み